



# 和歌山県立 はまゆう支援学校

令和3年度  
公開実践報告会のご案内(第二次案内)  
(オンライン開催)



2022年  
**2/1**火  
13:50~16:50

●令和元~3年度研究主題●  
**ポジティブな行動支援で  
子どもが主役の学校作りへ**  
~子どもの適応行動を支え、成長を促す~



わかる!  
できる!  
またやりたくなる!

## 🕒 プログラム

### Zoom ウェビナー (視聴型)

- 13:50~ ・開会挨拶・講師紹介・事務連絡 (校長 小原美佐香)
- 14:00~ ・学校研究概要説明 (研究部長 田端桂)

### Zoom ミーティング (参加型)

- 14:05~ ・授業実践発表①『小学部3・4年生あそびの指導』  
(学部研修概要説明・授業者説明・質疑応答)
- 14:20~ ・授業実践発表②『中学部1年生作業学習』  
(学部研修概要説明・授業者説明・質疑応答)
- 14:35~ ・授業実践講評(大久保賢一 氏)
- 15:05~ 休憩
- 15:20~ ・個別事例実践発表(小学部・中学部・高等部)
- 15:50~ ・個別事例実践講評・総括(大久保賢一 氏)
- 16:35~ ・自由意見交換ルーム
- 16:50~ ・閉会挨拶



研究講師: 大久保 賢一 氏  
畿央大学 教授  
日本ポジティブ行動支援  
ネットワーク会長

申し込み期日   
**令和4年1月25日(火)**

- ※参加形態は2種類※
- ①当日リモート参加
  - ②後日動画視聴のみ

お申し込みの際に、ご選択またはご記入ください。

## 📄 申し込み方法(QRコード or メール)

QRコードで  
申し込まれる  
方はこちら!



メールの場合は...

- ①氏名
  - ②所属
  - ③職名
  - ④所属先電話番号
  - ⑤メールアドレス
  - ⑥参加形態
  - ⑦研究冊子希望の有無
- を記入のうえ、送信ください。

### お申し込み後...

メールにて、事前視聴動画の URL および、当日参加用の ZoomID & パスワードを送ります。

当日までに、事前視聴動画にて、授業の様子をご覧ください。

2月1日(火)  
13:50~16:50  
実践報告会開催

終了後、アンケートおよび質問受付のメールを送らせていただきます。

📧【E-mail:tabata-k001@wakayama-c.ed.jp】

申し込み受付後、メールにて連絡事項を送らせていただきます。

# 授業実践

## 小学部3・4年生 あそびの指導 「われら はまゆうサーカス団」



中井 公子

清水 香

喜多幅 幸一郎

豊永 夏美

宮所 光有希

中村 侑介

小学部中学年では、他者と関わりを深めながら活動する力や役割意識を養うことを目標とし、体を使って遊びながら、模倣・表現する力を育てます。今回は大道芸や身体表現を活動内容とした見立て遊びを行い、2月に公開されるサーカスショーに向け、練習に励んでいます。一人ひとりが、好きで得意な種目を見つけ、主体的に取り組める環境設定のもと、チームで協力して移動や集合ができることを大切にしています。主体的な活動参加と対話的な学びの要素を取り入れたサーカスショーまでの軌道を学びとして発表します。

## 中学部1年生 作業学習 「チラシで編み物をしよう」



山口 紀子

濱地 勇太

山田 貴大

中学部1年生では、チラシを使った編み物の紙作業について発表します。決められた時間、見通しをもって作業に取り組むことを目標としており、授業中の「全集中タイム!」を合言葉に、オンとオフの切り替えを意識して作業に取り組んでいます。目標を意識して授業に参加できるように、生徒たち自身でルールを考え、評価し合い、その結果をもとに、頑張りを見えるように工夫を行っています。また、集中しやすい環境を作るために支援ツールを工夫しているところも、見どころです。

# 個別事例実践



小学部  
南 美香 教諭

本事例児童は、4月に入学した頃は、不安そうな表情を見せることもありましたが、身近な教員に慣れてくると、参加できる授業が増え、それにとめない、一緒に活動している友だちに気づき、一緒に遊びたい、名前を覚えたいという思いをもち、教員や友だちに自分から関わりを求めることが増えました。休み時間に、台車競争をして、友だちと一緒に遊び楽しそうな笑顔を見せることも多くなりました。初めての活動に参加することが苦手な本児ですが、友だちがやるならと、新しいことに自ら挑戦する姿も見られるようになってきました。本研究会では、本児童の偏食について、好きな友だちと一緒に、初めての食べ物に挑戦した実践を発表します。



中学部  
平野 博明 教諭

本事例の対象生徒は、これまで授業に対する苦手意識や不安によって授業参加が難しかったのですが、仲の良い友だちを頼りに参加しようとする意欲が出てきています。また、褒められることで少しずつ自信も見られるようになってきました。今回、毎日の学習内容を詳しく伝え、その中で頑張るポイントを自分で決めることで落ち着いて授業に参加する時間を増やしていける支援を行いました。また、良かった行動を振り返り、称賛することで自信を持って活動できるようになることを目標に取り組んできました。その具体的な取り組みと本生徒の変容についてまとめ、発表します。



高等部  
高松 優 教諭

本事例の対象生徒は、社会的・職業的自立を目指すマネジメントコースに所属しています。このコースでは、自分の意見を伝え他者と協力して答えを導くこと、周囲の活動に積極的にかかわること等、一般就労を目指して社会に出る準備を進めています。そのような将来を見越した時に、もっと自主性を伸ばしたいと考え、PBSに取り組んでいます。活動のねらいや自己の特性を丁寧に説明し、苦手な活動にも取り組めるように自分と向き合う時間を増やすこと、そして、良かった行動を具体的に分析して称賛することを大切にしながら、成功体験を積んでいけるような支援について発表します。



全員参加型の自由な意見交流の場を設けます！  
また、講師の大久保賢一氏より、実践発表を踏まえたポジティブ行動支援(PBS)についてのご講演をいただきます♪明日から役立つPBSノウハウがたっぷり詰まってる！



## 【問合せ先】

和歌山県立はまゆう支援学校  
〒649-2102 和歌山県西牟婁郡上富田町岩田2150  
担当 研究部長 田端 桂  
TEL: 0739-47-2115 FAX: 0739-47-2620  
E-mail: tabata-k001@wakayama-c.ed.jp